回覧
八郷地区市民センター
ひとみ
お知らせ
令和元年　7月20日
No.　746
八郷地区市民センター
TEL365－0259
『八郷のホームページ』http://www.yasato.org
『テレビ　データ放送』12チャンネル（CTY）dボタン

おはようございます！
～あいさつで地域を明るく元気にしよう～

７月１日（月）「社会を明るくする運動」強化月間にあわせ、八郷小学校、八郷西小学校、朝明中学校の各校門前及び西朝明中学校通学路（あかつき台六丁目）で「朝のあいさつ運動」が行われました。

雨の中早朝より、保護司さんをはじめ、地区内各活動団体から総勢９０名近くの関係者が集い、生徒や児童と明るく元気にあいさつを交わされていました。気持ちの良いあいさつによって、笑顔あふれるふれあいが始まり、絆が育まれ、明るいまちづくりにつながります。これからも明るいあいさつを続けていきましょう！

八郷小学校

八郷西小学校

朝明中学校

西朝明中学校通学路

諏訪太鼓がやってくる！

日　時：8月2日（金）１４時頃
場　所：ハピネスやさと
演　技：近鉄百貨店諏訪太鼓のみなさん
問合せ：四日市諏訪太鼓振興会事務局
（四日市商工会議所内）TEL　３５２－８１９５

天候により、演技ができない場合もありますのでご了承ください

八郷地区活動団体協議会事務局　お休みのお知らせ

団体事務局の業務は、**8月10日（土）～15日（木）**お休みさせていただきます。

※ 八郷地区市民センターの業務は、通常通りです。

戦没者を追悼し平和を祈念する日　８月１５日に黙とうを

８月１５日の「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に、日本武道館で政府主催の「全国戦没者追悼式」が行われます。市民・事業者の皆さんも当日正午から１分間の黙とうをお願いします。黙とうの時間にあわせて、市内の寺院では正午に鐘が鳴らされることがあります。

この機会に、今一度戦争の悲惨さ、平和と命の尊さについて考えてみましょう。

問合せ：健康福祉課　TEL 354-8109　FAX 359-0288

表彰おめでとうございます

７月１２日（金）川越町あいあいホールで「四日市市民生委員児童委員大会」が開催され、次の方々が表彰されました。おめでとうございます。これからも身近な福祉の相談役として地域社会づくりにご協力をお願いします。

四日市市民生委員児童委員協議会連合会会長表彰

＜受賞者のみなさん（写真左から）【】は担当町（丁）名＞

村上　幸太郎さん【山分町・黄金町】
坂本　照美さん　【あかつき台四丁目】
村木　秀行さん　【平津新町（南）】
山本　三枝子さん【中村町・萱生町】
阿部　君子さん　【伊坂台一丁目】
稲垣　保雄さん　【山村町】

夏休み！道路での遊びによる事故に注意しましょう！

子供たちの大好きな夏休みがやってきます。しかし、下の資料のとおり通学等を除く私用での交通事故の通行目的別では、道路での遊戯中の事故が３０％と多くなっています。

子供は背丈が低くドライバーから見えづらいなど、道路での遊戯は非常に危険です。これから夏休みに入り子供たちの屋外での活動も活発になる時期となりますが、悲惨な事故から尊い命を守るため、子供たちを道路で遊ばせないように注意しましょう。

◎小学生の交通事故の通行目的別内訳（学校関連を除く）　警察庁 H26～H30）

通行目的	観光娯楽	散歩	買物	訪問	遊戯	その他	合計
発生数	127	84	243	403	670	692	2,219
発生率	5.7%	3.8%	11.0%	18.2%	30.2%	31.2%	―

問合せ：道路管理課交通安全係　TEL 354-8154

ユネスコ無形文化遺産
「鳥出神社の鯨船行事」見学と体験ツアー参加者募集

ユネスコ無形文化遺産の「鳥出神社の鯨船行事」が８月１４日（水）・１５日（木）に富田地区で行われます。見学と体験ツアーに参加して、勇壮な鯨船を体感してみませんか。

日　　時：８月 15 日（木）9:30～15:00 頃（9:00 受け付け）
集合場所：富田地区市民センター２階ホール
内　　容：鯨船の概要の説明、各組の鯨船山車に分かれて
町練りと本練りの見学・体験
そ の 他：８月１日までに、参加者全員の住所・名前・年齢、
代表者の連絡先を、電話かファクス、Ｅメールで、
社会教育・文化財課へ。荒天により中止の場合あり。
※詳しくは、『広報よっかいち』６月下旬号、
ＨＰ（「とりでじんじゃのくじらぶね」検索）を
ご覧ください

問 合 せ：社会教育・文化財課 TEL 354-8238　FAX 354-8308
Ｅメールアドレス　syakaibunkazai@city.yokkaichi.mie.jp

≪こども子育て交流プラザ≫

【主なイベント日時・内容】　＊いずれも参加費無料

８月３日（土） 13：30～15：00	**伝承ゲーム** 昔から伝わるあそびやミニゲームを皆で楽しもう。	対　象：　小学生 持ち物：上ぐつ、 動きやすい服装
８月１１日（日） 10：30～12：00 13：30～15：00	**すいすい浮沈子（ふちんし）作り** 水の中でお魚が浮いたり、沈んだり、泳いだり！？ 実験浮沈子工作をしよう。	対　象：小学生 定　員：各回先着 15 名 持ち物：円筒のペットボトル ＊当日９：00 から整理券配布
８月１８日（日） 13：30～15：00	**防災知識もりもり大作戦** 災害に備える大切さをクイズや工作を通じて学ぼう。 夏休みの自由研究にピッタリ!!	対　象：２名以上の家族 定　員：20 組 持ち物：筆記用具 ※協力：四日市市中消防署 西分署長 中島修平さん
８月２４日（土） 13：00～16：00	**プラザ夏まつり 2019** 盆おどりや縁日、おばけやしきなど、楽しい一日をすごそう。 ＊詳しくは夏まつりチラシをご覧ください。	対　象：どなたでも

問合せ：こども子育て交流プラザ　TEL 330－5020　FAX 334－0606
ホームページアドレス　http://cocoplaza-yokkaichi.jp/

くるべ古代歴史館
～体験イベントのお知らせ～

◆弥生土器のもようをうつしとろう

日　時：８月７日(水)　13:30～15:00
対　象：小学４年生以上　　内　容：拓本(紙)で土器のもようをうつしとります。
料　金：無料　　その他：申込み不要

◆くるべで勾玉をつくろう！

日　時：９月８日(日)、15 日(日)　いずれも 10：00～12：00
対　象：小学生以上（小学生は保護者同伴）
定　員：各回 20 人（応募多数の場合は抽選）
料　金：無料
持ち物：汚れてもよい服装
申込み：８月 10 日（必着）までに、参加希望日、参加者全員の名前・年齢（はがき１枚につき２人まで）、代表者の住所・電話番号を、往復はがきで、くるべ古代歴史館へ

※詳しくは、『広報よっかいち』７月下旬号、久留倍官衙遺跡公園ホームページをご覧ください。
（http://www.city.yokkaichi.mie.jp/kyouiku/kurube）

問合せ：社会教育・文化財課　くるべ古代歴史館（〒510-8034　大矢知町 2323-1）
TEL 365-2277　FAX 365-2288

排水管高圧洗浄の投げ込みチラシにご注意を！

○市とは関係ありません

最近、「下水道管（排水管）内の高圧洗浄作業を地域一斉工事により実施する」というチラシに関する相談が数多く寄せられています。チラシには「三重県第○○地区にお住まいの皆様へ」「地域一斉に集中工事を行う」などと書いてありますが、市役所が個人のお宅の排水管の清掃や無料点検を行うことはありません。

○チラシの内容をよくご確認ください

「格安」と記載されていても、一か所あたりの料金が安いだけで、合計すると高額になることもあります。チラシの内容は注意してご覧ください。
また、必要だと思ってもその場で契約せず、複数の業者から見積もりを取り、周りの人にも相談してください。
そのうえで、契約書面をしっかりと確認し、かかる費用やその内訳を理解して、慎重に契約しましょう。

問合せ：市民生活課　市民・消費生活相談室（市役所１階）
TEL　３５４－８２６４（平日９：00～12：00、13：00～16：00）

ハンドベル 【すいせん】

8月7日(水)・21(水) 10:00～11:30

伊坂ダム内「八郷ふれあいハウス」

※童謡・唱歌・懐かしい歌を大正琴の伴奏で演奏します。文化祭、慰問もさせていただき、全員の励みとしています。

参加費：１００円（茶菓子代）

連絡先：横野　TEL３６６－０２０８

ダムの歌の会

8月 19日(月)10:00～11:30

伊坂ダム内「八郷ふれあいハウス」

※童謡・唱歌・懐かしい歌を大正琴やエレクトーンの伴奏で唄います。10 回クイズや身体を動かしたり、はじける笑顔がいっぱいです。

参加費：１００円（茶菓子代）

連絡先：山下　TEL３６４－６２１０

八郷西ヘルスリーダーによる「あかつき杉の子会」

8月8日(木)10:30～11:45

あかつき台一丁目集会所ホール

※ヘルスリーダーの指導のもと、軽いストレッチ体操などでからだを動かしましょう！動きやすい服装でお越しください。

参加費：無料

持ち物：タオル、飲み物

連絡先：赤尾 TEL３３８－４５３９

あじさい広場　楽しくお料理しましょう！

8月 27日(火)10:00～12:00

八郷地区市民センター　調理室

※季節や旬の食材を使って、軽食や和菓子を作り、全員で食します。試食のみの参加もお待ちしています。

参加費：３００円（材料費）

持ち物：エプロン、タオル

連絡先：水谷　TEL３６５－９７７２

のびのび体操 【ひまわり】

8月 13日(火)10:00～11:30

伊坂ダム内「八郷ふれあいハウス」

※転倒予防やストレッチ・筋トレを椅子に座ってします。簡単なゲームや手遊びもあります。

参加費：１００円（茶菓子代）

連絡先：稲垣 TEL３６４－３７７１

四日市市ヘルスリーダーの会、イキイキ教室

8月 29日(木)13:30～15:00

八郷地区市民センター　大会議室

※おおむね６５歳以上の方と、介護予防のための無理のないストレッチや筋トレ、レクリエーションなどで楽しく体を動かしましょう。

参加費：無料

持ち物：タオル、飲み物

◆ちびっこ広場

八郷地区市民センター　和室

8月2日(金)10:00～12:00

◆八郷西保育園　なかよし広場

8月7日・21日・28日

いずれも水曜日9:30～11:30

◆八郷中央幼稚園あそび会

8月はお休みです

自動車文庫巡回予定

8月はお休みです

八郷の歴史紹介　Vol.７８　　八郷の歴史探検隊

先号において、松本清張氏と神田秀夫氏の対談の場で話題となった「地方」「円」「方」などの文字に係る意味（意義）について、さわりをご紹介しましたが（詳しくは「謎の源流・角川書店」をご覧ください）、今回はそれらが有する内容、歴史的意義をもう少し掘り下げてみたいと思います。

昭和初期の戦時下を生きた人は次のようなご経験をお持ちのことと思います。

軍隊所属の人が「地方へ出る、あるいは地方へ行く、戻る」という時は、この場合の地方は場所の意味ではなく、軍以外の社会の人間になる、ということを意味していました。この言葉は当時の軍内部においてだけの特殊用語ではなく、“広辞苑”にも記載されている普通の言葉として認知されていました。当時は軍という組織、機能集団は、侵しがたいものとして、平面的には社会の中心、立体的には社会の最上位に位置していた訳です。軍からみてそれ以外の組織は諸官庁であれ民間企業、社会であれ軍の下部もしくは周辺に位置づけられるもの即ち、**地方**そのものでした。軍は天皇と直結し、侵しがたい神聖なるものとして「天」であり「円」であると考えていたようです。今考えれば、けっして一般的でもなく正当とも思われないのですが、当時においては国民の間にもこういう状況を自然に受け入れる風土が根付いていたようです。

地方という言葉が、いつから使われまた広く普及されるようになったかはよく判りませんが、使用された当初から「下」あるいは「周辺」という意味を内包していたのではないかと考えられます。八郷では未発見の「前方後円墳」ですが、言うまでもなく前が**方**で後ろが**円**になっています。「方」である前は後ろの「円」に至る通路に過ぎず、円が本体です。**天円地方**という概念が中国からもたらされたことを前号で述べましたが、これを当時の豪族のうち勢力大なるものが古墳に利用したのだと推察されます。

これらに類する言葉を列記してみます。天ツ神：国ツ神（この場合“国”は“地”と同義語）、天神対地祇（てんじんちぎ）、天孫族対国造（くにのみやっこ）などありますが、すべて天が上位あるいは征服する側にあり、地（国）は下位で征服される側でした。このような土壌の中で、天武朝（天武、持統、文武、元明、元正、聖武・・）が日本書紀を編纂公布し“地方”はお上（？）が定めた言葉として普通に広く使用されるようになったと思われます。

余談ですが、古事記は同じ頃編纂されはしましたが、世に出ることはなく、室町時代になってようやく人に知られるようになったと考証されています。

私たちは何気なく使っていますが、地方という言葉は民主、平等といった今の一般的な概念とは異なり、わが国の歴史において差別的な意味合いをもって使用されていたこともあります。一方、特筆すべきは、わが伊勢地方が生んだ偉人、松浦武四郎翁（北海道の命名者）は、このような意識に染まることなく、当時としては稀有な平等精神をもって現地の人たちに接し、現地の人たちの尊敬を得て偉大な業績をあげられました。翁の人格識見、業績はもっと顕彰されてしかるべきと思われます。

（以下　次号）　　（文責　竹内　勇）